

令和 5 年度職員等表彰の被表彰者を決定しました

堺市では、堺市職員等表彰規則に基づき、職員栄誉表彰と業務功績表彰の被表彰者を以下のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

1 内容

(1) 職員栄誉表彰

- ・ 功 績 部 門 1 件

(2) 業務功績表彰

- ・ 市長特別賞 1 件
- ・ 市長賞 2 件
- ・ 優秀賞 3 件

* 詳細は別紙をご参照ください。

【参考：堺市職員等表彰規則（抜粋）】

（表彰）

第 2 条 市長は、次の各号のいずれかに該当する職員等のうち適当と認めるものについて、当該各号に定める表彰を行うものとする。

(1) 勤続年数が 30 年に達した職員（臨時的に任用される職員その他法律等により任期を定めて任用される職員及び懲戒処分を受けた職員を除く。） 永年勤続表彰

**(2) 職務外において、広く賞賛を受け、職員の名誉を高揚し、又は他の職員の模範となる善行をした職員
職員栄誉表彰**

(3) 市政の推進に多大な効果又は便益をもたらし、顕著な業績を上げた職員等 業務功績表彰

問
い
合
わ
せ
先

担 当 課：総務局 行政部 行政経営課
電 話：072-228-8632
ファックス：072-228-1303

令和5年度職員等表彰受賞取組一覧

1 職員栄誉表彰

(1) 功績部門1件

No.	標題	個人名/組織名	概要
1	トライアスロンチャンピオンシップシリーズ優勝	消防局 総務部 総務課 石端 真和	公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）が開催する大会「2023JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ【スタンダード】」において、30歳～34歳の部で年間総合ランキング1位を獲得した。

2 業務功績表彰

(1) 市長特別賞1件

No.	標題	個人名/組織名	概要
1	新型コロナウイルス感染症対策に関する取組	健康福祉局をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策業務に従事した職員一同	新型コロナウイルス感染症対策に携わった職員の努力により、市政運営に大きな支障を生じさせることなく、全庁を挙げて市民の命と健康を守ることに大きく貢献した。

(2) 市長賞2件

No.	標題	個人名/組織名	概要
1	G7大阪・堺貿易大臣会合に関する取組	市長公室 貿易大臣会合協力室	堺市で初のG7サミット関係閣僚会合である「G7大阪・堺貿易大臣会合」の開催にあたり、大阪府や経済界等と「2023年G7貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会」を設立し、経済産業省及び外務省との緊密な連携のもと、安全安心な会合開催の支援や地元歓迎行事の実施、大阪・堺の魅力発信、住民向けの広報・機運醸成業務等、前例のない事業に果敢に取り組み、成功に導いた。
2	上下水道事業と健康福祉事業が連携した新たな広報の取組	上下水道局 経営企画室 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課	上下水道事業と健康福祉事業が連携した新たな広報の取組として、デザインマンホール等を活用したウォークラリー等、健康増進を図りながら上下水道事業に興味を持ってもらう企画を実施した。健活アプリ「アスマイル」を活用する事で職員の作業に割く負担を軽減しながらゼロ予算を実現し、堺市基本計画2025のKGI、KPI（文化施設の利用者数、前期高齢者の要支援認定率、堺東駅、堺駅の乗降客数）にも紐づき、市全体における都市魅力の発信にも寄与した。本取組は、他部局との関係性の構築やそのスキームが全国の他の自治体の模範となり、「第10回GKP広報大賞」グランプリ、「令和5年度国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」グランプリを受賞した。

(3) 優秀賞3件

No.	標題	個人名/組織名	概要
1	救急隊員を守る救急車内感染症対策カーテンの共同開発	消防局 救急部 救急課 救急部 救急ワークステーション	新型コロナウイルス感染症に関する知見が少なく、未知のウイルスへの救急対応、安全管理が模索される中、救急隊員の感染対策という課題解決のため、市内業者であるCK Company有限会社と「救急隊員を守る救急車内感染症対策カーテン」の共同開発を行った。救急活動の利便性向上のほか、救急隊員の不安解消につながり、感染を防いだことで消防局の業務機能を維持し、市民の安全安心を守った。本取組は、令和5年11月16日付けで、総務省消防庁が主催する「令和5年度消防防災科学技術賞」の優秀賞を受賞した。
2	G7学校給食の実施	G7学校給食メンバー 栄養教諭 学校栄養職員 臨時技師	G7大阪・堺貿易大臣会合の機会をとらえ、栄養教諭等が一丸となり、G7参加国の料理を取り入れた学校給食の提供や学校給食を活用した食に関する指導に関する資料作成など、学校給食を通じて子どもたちの国際感覚の醸成に貢献した。
3	オールイングリッシュを中心とした英語教育の推進	堺市立殿馬場中学校 教諭 島崎 圭介	英語教育実践研究校の指定を受け、オールイングリッシュでの授業を全学年で展開した結果、大阪府チャレンジテストや全国学力状況調査などにおいて、例年と比較し生徒たちの英語力が著しく向上した。また、研究発表会を実施し、他校の教員に授業を公開し、実践報告を行うことで、堺市全体にその成果を広めた。